

# ノーベル賞：世界で最も権威ある学術文化賞

## イングリッド・フローマン、フリージャーナリスト

世界の人々から賞賛を浴びたいならば、ノーベル賞獲得を目指すのが一番の近道だろう。

名声を手に入れるための方法としては、確実ではあるが決して容易とはいえない道のりである。誰もが受賞者の話に耳を傾け尊敬の眼差しを向けるうえに、巨万の富までも手に入れることができる。

ノーベル賞は今日、世界で最も権威ある学術文化賞として魔法の力を発揮するが、ノーベル賞の生みの親であるスウェーデン人発明家、アルフレッド・ノーベル（1833年-1896年）が1895年に遺言状を書いたとき、ノーベル本人はこのことについては予想していなかったであろう。

毎年秋に行われる各受賞者の発表が、人々の話題と全世界のメディアの関心を集めるようすを知ったら、ノーベルは目を丸くして驚くかもしれない。実際のノーベルは勤勉で内向的な人柄であった。そして自分の遺産を基金として、人類のために多大な貢献をした人物に賞を授与することを望んだのであった。

アルフレッド・ノーベルは1833年にストックホルムに生まれた。ノーベルが9歳のときに一家はロシアのサンクトペテルブルグへ移住し、発明家であったノーベルの父はその地で事業を興し成功を収めた。

息子たちも父の素質を受け継いだ。ノーベルの兄達はバクー油田の開発に成功し、次第にヨーロッパの石油産業を独占していった。ノーベル自身は世界で最も才能豊かな発明家で実業家の一人として数えられるようになった。

1860年代になってノーベルはスウェーデンへ戻り実験を続けた。彼が行う実験の代償は時に大きく、1864年にストックホルムで実験中に起きた爆発事故では弟と助手を失ってしまった。その後も実験を続け、1866年、ノーベルはついに運搬や取り扱い中の危険を最小限に抑えて安全に使用できる爆薬の発明に成功する。この新しい発明品は本人によって「ダイナマイト」と名付けられた。



ダイナマイトの発明者アルフレッド・ノーベル（1833-1896）は、その財産をノーベル賞に出資しました。彼はこの寄付で「人類に最も寄与した」貢献に対し報償を与えることを希望しました。写真：/www.imagebank.sweden.se ヨースタ・フローマン / The Royal Library

ダイナマイトの発明によってノーベルは富と名声の両方を手に入れたが、彼の研究はこれでは終わらなかった。ノーベルはスウェーデン国内と海外20数ヶ国で事業を展開し、実験室での実験を継続させた。1896年に63歳で生涯を終えるまで、355件もの特許を取得し、人造絹糸の分野でも成功を収めた。

スウェーデン文化交流協会発行  
2005年10月 分類 A116JAa (Japanese)

その他の記事は [www.sweden.se/articles](http://www.sweden.se/articles) にあります。

**Si.**  
Svenska institutet

## ヨーロッパで最も裕福なさすらい人

アルフレッド・ノーベルという人物は、19世紀の技術革新に没頭するような楽観主義者であり、他方でナショナリズムやパトリオティズムが台頭する時代のヨーロッパで国際人として活躍するような、二つの面を持ち合わせていた。ノーベルは自らを世界人と称し、フランスの文豪ビクトル・ユゴーはノーベルのことを「ヨーロッパで最も裕福なさすらい人」と称した。彼は語学に堪能で、スウェーデン語のほかにロシア語・フランス語・ドイツ語・英語を自在に操った。また文学を愛し、自分でも詩や小説をいくつも書き残した。

## 生涯独身で過ごした億万長者

ノーベルは晩年をフランスとイタリアで過ごし、1896年12月10日、イタリアのサンレモでその一生を終えた。ノーベルは生涯独身で子供もいなかったため、親類達はノーベルが残した莫大な遺産の相続を期待していた。

しかし驚くことに、ノーベルは財産の大部分を財団設立のために寄付するように遺言状に記していた。その財団はノーベルの名にちなんでノーベル財団と名付けられた。ノーベルが財団設立のために寄付した金額は当時の貨幣価値でおよそ3200万スウェーデンクローナであった。さらに遺言状には、

毎年基金からの収益を配分して、物理、化学、生理・医学、文学の5分野において人類のために多大な貢献をした人物に賞として授与することが記されていた。

3200万クローナは当時では相当な金額であったが、これを好意的に受け止める人は誰もいなかった。ノーベル賞の基本理念でもある、受賞者の国籍を問わずに授与するという考えは19世紀後半ではセンセーショナルであったため、ノーベルの親類達はこれに反対して、遺言状を無効にしようと試みた。ノーベルの死後からちょうど5年後の1901年12月10日、第一回目のノーベル賞の授賞式がストックホルムとオスロで開かれた。遺言状が書かれたとき、スウェーデンとノルウェーは同盟関係にあったため（1905年に解消）、平和賞をオスロで、その他の賞をストックホルムで授与することに決めたのであった。

最初の数年間は問題があったものの、ノーベル賞の評価はすぐに上がった。今日、ノーベル賞の受賞者は12月10日の授賞式からおおよそ2ヶ月前の10月に発表される。受賞者の選考には、物理学賞と化学賞はスウェーデン王立科学アカデミーが、生理・医学賞はカロリンスカ研究所が、そして文学賞はスウェーデン・アカデミーが当たる。平和賞の選考はノルウェーの国会によって任命される委員会がオスロで行う。経済学賞は実際のノーベル賞ではなく、ノーベルの功績を称えてスウェーデン中央銀行が1968年に創設した賞で、経済学賞もほかの賞と併せて授与が行われる。

### 世界中からの注目

各受賞者がその榮譽に浴する10月には、次年度に向けて受賞者の選考がすでに始まっている。9月になると受賞候補者の推薦を受け付けるが、推薦権はスウェーデン国内外のアカデミーと歴代のノーベル賞受賞者が有し、自己推薦は認められていない。各賞に対して毎年200から350名の候補者が上がり、



2003年12月10日のノーベル賞授与式で、カール16世グスタフ国王より賞を授与されお辞儀する、化学賞受賞者ロデリック・マッキノン。写真：www.imagebank.sweden.se ヘンリック・モンゴメリー / Pressens Bild

平和賞の候補数は毎年およそ個人と団体を合わせて200件程度である。

世界中のメディアは12月10日の授賞式よりも10月の受賞者発表に大きな関心を寄せる。メディアの編集局は、受賞者の経歴の紹介から研究成果まであらゆる情報の収集に努める。

「ノーベルとはスウェーデンが世界に誇る名である」と世界各国に赴任してきたスウェーデン人外交官は語る。今日、アルフレッド・ノーベルとノーベル賞賞金への関心は1901年よりも格別になくなってきている。ノーベル財団のウェブサイトには、歴代受賞者の紹介や1901年からのノーベルレクチャーが掲載されていて、年間1800万人の人がこのウェブサイトを訪れる。世界の有力紙は一躍有名となった受賞者とのインタビューに列を組み、英国BBC放送は12月のノーベルウィーク中に受賞者との対談を企画して、ジャンルを問わずに様々な話題について討論する。

関連リンク <http://nobelprize.org> – ノーベル財団のウェブサイト

この記事の執筆者イングマリー・フローマンはフリーのジャーナリスト。スウェーデン・ラジオとスウェーデン・テレビの海外通信記者として、ブリュッセルとパリに駐在経験がある。

本文の記述内容に関する文責は、著者のみに帰する。

翻訳：本多和香子

この文はスウェーデン文化交流協会の発行で、www.sweden.se にも掲載されています。スウェーデン文化交流協会の許可なしにコピー、転送、発表、発行または放送することを禁止します。文章使用許可はwebmaster@sweden.seに問い合わせください。写真またはイラストをその他のコンテキストに使用することを固く禁止します。

スウェーデン文化交流協会(SI)は、海外においてスウェーデンに関する知識を広めるために設立された公的機関です。スウェーデン社会を様々な見地から考察した出版物を、数ヶ国語で幅広く制作しています。

スウェーデンの詳しいインフォメーションは：www.sweden.se (スウェーデンの公式代表サイト) またはお住まいの国のスウェーデン大使館や領事館にお尋ねください。スウェーデン文化交流協会 郵便宛先：Box 7434, SE-103 91 Stockholm, Sweden. 事務所住所：Skeppsbron 2, Stockholm. 電話：+46 8 453 78 00. E-mail：si@si.se. ウェブサイト：www.si.se またはwww.swedenbookshop.com